

関東甲信地方下水道ビジョン策定に関する調査

全体期間

2003.11～2004.3

(目 的)

快適かつ良好な都市環境を確保するために、汚水を適正に処理し、雨水を速やかに排除する下水道は、社会生活に欠くことのできない都市施設である。また、地球環境問題への対応を図るために、公共用水域等の水質保全や良好な水循環の形成等、下水道の果たす役割はますます重要になってきている。

このような中、関東甲信地方における下水道整備について、地域の方々にとって分かりやすい行政を目指した下水道事業を推進していくため、今後の下水道整備において重点的に取り組むべき課題や、中長期的な整備方針等を明確にした「関東甲信地方下水道ビジョン」を策定したものである。

(経 過)

「関東甲信地方下水道ビジョン」は、関東地方整備局および茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、千葉市、さいたま市、横浜市、川崎市の1都8県4政令市で構成される行政連絡会により策定された。策定にあたっては、下水道等の専門家のほか、NPO・観光協会など、各地域で活躍されている方に参加いただいた「関東甲信地方下水道ビジョン策定懇談会」(以下「懇談会」)を3回開催し助言をいただき、一般住民や市民団体に対しPI調査を実施することにより、幅広い分野からの意見を伺った。

本機構では、「懇談会」の準備、運営および記録を担当し、「関東甲信地方下水道ビジョン」の基礎となる参考資料を作成した。参考資料では、関東甲信地方の自然条件(地形、河川・湖沼・海域の概要)や社会・経済状況(土地利用、人口、産業)について整理した上で、下水道の整備状況等について現状分析した。また、「懇談会」からの助言を受け、下水道の整備状況等を流域単位(水系ごと)でとりまとめ、下水道行政における最近の取り組みを整理した。

(まとめ)

「関東甲信地方下水道ビジョン」は、より一層の「おいしい水」等の確保や水環境の改善、循環型社会の形成を進めていくために、「流域一体」「地域一体」の観点から行政担当者一人一人が意識改革を行い、下水道事業の推進に取り組むことを宣言し、下記に示す構成により策定・公表されている。

タイトル：流域の水環境と循環型社会のために ～「見えない」下水道から「見える」下水道へ～

1. 関東甲信地方の下水道をめぐる水環境の現状
 - 汚水処理の状況、処理水と上水・河川水等の状況、高度処理の状況、浸水対策の状況
 - 循環型社会への対応状況(処理水のリサイクル・下水汚泥のリサイクル・エネルギー利用)
2. 下水道行政の転換方針 「見える」下水道に向けて3つの取り組み
 - (その1) ～快適な暮らしに向けて～
 - (その2) ～流域の水環境の保全と創造に向けて～
 - (その3) ～地域環境と循環型社会の貢献に向けて～
3. よりよい環境の創出に向けて ～住民・地域との連携、住民・地域による実践～
4. 関東甲信地方の目指す流域の水環境と循環型社会
 - 水質の改善・保全、エネルギーの有効利用、豊かな水辺の創造、雨水の貯留浸透と有効利用
 - 憩い空間の創出、処理水のリサイクル、資源の循環利用

国土交通省関東地方整備局からの受託研究

研究担当者：田中 修司，白崎 亮，飯田 和輝

キーワード

関東甲信地方，下水道ビジョン，水環境，循環型社会

J903A046